俺はググらない　みんなの質問箱

テーマ

天国と地獄って本当にあるの？

（リーフ、小2・東京都）

血の池地獄や龍巻地獄……いくつもの「地獄」があるのは、大分県別府市です。その正体は、色が真っ赤だったり、決まった時間に勢いよく噴き出したりする温泉です。今でこそ多くの人が見物に訪れますが、昔は人が立ち入ることができない危険な場所だったことから、地獄と呼ばれるようになりました。私たちが描く地獄のイメージに近い場所です。

リーフさんは「地獄が本当にあったら、地獄に行ってしまわないか心配です」と書いてくれました。やっぱり、怖いですもんね。

死後の世界はいろいろな宗教が示していますが、仏教、キリスト教、イスラム教の世界3大宗教はいずれも、良いことをした人や信仰のあつい人が行く「天国（極楽）」と、悪いことをした人や信仰を持っていない人が行く「地獄」があるとしています。

一方、死ぬと無になるだけで、死後の世界なんてものは存在しないと考える人もいます。死んで何もかも終わるのと、天国や地獄で人生の総決算を迫られるのと、果たしてどちらがいいのでしょうね。

イラスト・坂川りえ

会議中

新庄：「パスカルの賭け」っていう有名な話があって、神様はいるかいないか分からないけど、いると考えた方が生きる意味ができて良いじゃん、って考え方なんだ。あの世もあるかどうか分からないけど、あると思った方が良いって考える人が多いんじゃないかな。

永瀬：中国の孔子っていう人は、「人生も知らないのに死なんてもっと分からない」って言ってるよ。実際に見ることができないなら、それが正直な態度なのかも。

回答1　実は誰も知らない

聞く

キリスト教にくわしい国際基督教大学の森本あんり教授＝写真＝は、「天国と地獄が本当にあるかどうか、実は誰かなことは誰も知りません」と言います。死後の世界から帰ってきた人がいないからです。

地獄に行くことを心配するリーフさんに対しては、「おしゃか様やイエス様は、悪い人を地獄に送るのではなく、悪い人でも立ち直って天国に行けるよう助けてくださる方です」と語りかけ、「悪いことをしたらすぐ地獄行きになるなんて心配しなくていいと思います」と教えてくれました。

森本さんは「年をとるにつれて地獄より天国のことを考えることが多くなります」と言います。多くの出会いと別れを経験し、先に亡くなった人と天国で会いたい、と考えるようになるからです。「亡くなった人のことを思いながら、今の人生をしっかりと前向きに生きてゆくことが大事ですよ」

回答2　死後の「再会」願う

聞く

田ヒカルさん＝写真＝は、8年前に母親を亡くした時、こう感じたそうです。「葬儀場で母の遺体と過ごせた短い時間はかけがえのないものだったけれど、もうそこに母は『いない』と感じました。『消えた』のではなく、『ここではないどこかにいる』と」。こうした経験から、死後について「何も触れることはできないけど全てのものとつながっている」という世界をイメージしているそうです。

死にゆく患者さんを何千人も診てきた緩和ケア専門の医師・山崎章郎さんによると、死期をさとった患者さんに「自分の死後、次の世界があると思いますか」と聞くと、半数以上の人は「そう思う」と答えるそうです。「亡くなったお父さんやお母さんに迎えに来てほしい」「なつかしい人に再会できる」と考え、山崎さんに「また会いたいですね」「先生、待ってますよ」とほほえむ患者さんもいると話してくれました。

回答3　「あの世」を洞窟で

行く

「ここからは死んだつもりでついてきてくださいね」。洞窟の前でガイドの男性がおだやかな笑顔で言いました。すこし緊張しながら暗闇に入ると、そこにはエンマ大王（の像）が待ち構えています。

大分県宇佐市にある「地獄極楽」は江戸時代、お坊さんが洞窟を掘って、仏教の伝える「あの世」を再現したもの。仏像や鬼の像が並ぶ洞窟を進み、ラストは5mの縦穴を、鎖を頼りに登りきると、洞窟の外の明るい「極楽」に出ます＝写真＝。そこでがけの下に広がる青い田んぼを見下ろし涼しい風に吹かれて感じたのは、「生きていること自体が、極楽なのかも」。

そう考えた時、仏教に詳しい東北福祉大学学長の千葉公慈さんに取材したとき聞いた言葉が思い出されました。「悪いことも良いことも死後に報いがあるという考えはね、結局は生きている間の人生を充実させるためのものなんですよ」

結論　死後の心配はいらない

天国も地獄も、今をよりよく生きるためのイメージだと考えてみよう。

宇多田ヒカルさんや森本あんりさんのコメント全文を、KODOMO新聞のサイトで順次、掲載します。5週目がある月だけの特別企画「俺はググらない」では、みなさんが気になること、困っていることなどを随時募集しています。記者がネット検索に頼らず、取材で答えます。質問の送り先は16ページと同じ「俺はググらない係」へ。

＊このコーナーは第5週に掲載します。次回は9月30日に掲載予定です。